

平成28年度
学校訪問活動報告書

平成29年3月29日

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会

— 目 次 —

I. 平成28年度の学校訪問活動を終えて	…	1
II. 平成28年度・学校訪問一覧表	…	2
III. 学校訪問における主な意見交換内容（抜粋）	…	3
IV. 合同就職面接会、内航タンカー見学等	…	4～5
V. 海技教育機構との懇談会議事概要	…	6～12
VI. 水産高校生の求職希望に対する情報提供	…	13
VII. 平成28年度・船員対策委員会委員名簿	…	14
(別紙) 学校別訪問結果報告書	…	15～

I. 平成28年度の学校訪問活動を終えて

船員対策委員会では、当組合の中期運営指針及び平成28年度事業計画において、船員の高齢化・不足化等の状況に鑑み、若年船員の確保・育成を重要施策に位置付けていることから、本年度も次の目的で学校訪問活動を実施いたしました。

- (1) 船員の高齢化、若年船員の不足状況から、学校との良好な関係づくりの継続。
- (2) 学校側に、業界の現状、求人傾向の説明、及び生徒の求職希望等について情報交換。
- (3) 毎年変わる生徒に対し、内航タンカーの役割や船員の仕事等の説明によるPR。
- (4) 学校とパイプの無い会社の橋渡しの役割を果たし、採用会社数の底辺を拡大。

訪問に当たっては、例年通り海技教育機構本部との意見を交換を行い、各支部の協力を得て、組合員に参加を呼びかけ、去年の27校を上回る37校の訪問により、参加会社、参加人数も、延べ217社、284名と、昨年を大きく上回る訪問活動を実施することができました。(海上技術学校・短大8校、水産高校22校、工業高校1校、商船高専5校、商船系大学1校、前年度対比：訪問校±10校、延参加会社数+39社、延参加者数+56名)

海上技術学校及び同短大生の内タン各社の採用実績については、他組合に比べても多くの採用実績があり、同時に採用会社数の増加による底辺の拡大により、着実に訪問活動の効果が浸透して来た感があります。(平成28年新卒採用119名)

水産高校については、組合員の採用実績がある学校、毎年出前授業の依頼を受けるなど好感触を得ている学校を中心に訪問を実施し、着実就職実績が増えていきます。(平成28年度新卒採用99名)。

商船高専については、訪問活動や各社の求人増加を反映して、徐々に内航タンカーを就職対象と考えている生徒が増加し、今後も就職実績の伸びが期待出来ます。(平成28年度新卒採用25名)

この他、関西支部で試みている、不足する機関部員の新規発掘に向けた工業高校生徒や一般の高校・大学(平成28年度新卒採用33名)、将来の陸上管理者としても期待される商船系大学生(28年度新卒採用19名)も含めて、あらゆる分野から若年者を就職実績につなげていくことが課題かと思えます。(註:採用数は内航タンカー船員実態調査結果による集計値)

組合員の平成29年3月の新卒採用活動については、例年以上に積極的な求人活動が展開されましたが、他業種からの求人数も増加する等、採用活動に苦戦した組合員もいるやに聞こえております。

このため、平成29年度は、これまでの訪問活動によって作り上げてきた業界と学校の相互理解をさらに深め、訪訪問結果を当組合の施策に反映し、組合員各社の船員募集活動の一助となるよう継続した活動を展開して行きたいと考えております。今後とも、皆様の活動に対するご理解とご支援をお願いいたします。

訪問活動にあたり、当委員会委員はじめ、各支部より多くの方々のご協力をいただきました。ここに改めてお礼申し上げます。

平成29年3月
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

II. 学校訪問一覧表 (平成28年度)

区分	No	地区	訪問校	訪問日	担当支部	訪問実績		
						社数	人数	
海技教育機構	1	北海道	小樽海上技術学校	2月3日	関東	7	9	
	2	岩手	宮古海上技術短期大学校	10月28日	関東	8	10	
	3	千葉	館山海上技術学校	2月28日	関東	6	7	
	4	静岡	清水海上技術短期大学校	10月5日	関東	9	11	
	5	佐賀	唐津海上技術学校	10月20日	西部	11	15	
	6	長崎	口之津海上技術学校	11月21日	西部	8	10	
	7	愛媛	波方海上技術短期大学校	11月9日	四国	12	16	
	8	兵庫	海技大学校(芦屋)	3月29日	関西	6	8	
水産高校	9	北海道	小樽水産高等学校	2月2日	関東	7	9	
	10	北海道	函館水産高等学校	12月12日	関東	5	7	
	11	青森	八戸水産高等学校	12月13日	関東	3	5	
	12	岩手	宮古水産高等学校	10月27日	関東	8	10	
	13	宮城	宮城水産高等学校(※)	7月11日	関東	3	3	
	14	千葉	館山総合高等学校	3月23	関東	6	7	
	15	神奈川	海洋科学高等学校(三崎)	11月25日	関東	5	7	
	16	静岡	焼津水産高等学校	7月13日、7月28日	関東	3	4	
	17	愛知	三谷水産高等学校	1月16日	東海	3	5	
	18	三重	三重水産高等学校	1月17日	東海	9	10	
	19	兵庫	香住高等学校	5月30日、9月13日	関西	4	5	
	20	京都	京都海洋高等学校	7月20日	関西	5	6	
	21	福井	若狭(小浜水産)高等学校	7月19日	関西	4	5	
	22	島根	浜田水産高等学校	3月9日	関西	5	6	
	23	島根	隠岐水産高等学校	3月27日	関西	2	4	
	24	富山	滑川高等学校	6月2日	関西	4	5	
	25	香川	多度津高等学校	11月24日	関西	5	6	
	26	愛媛	宇和島水産高等学校	2月7日	四国	7	11	
	27	高知	海洋高等学校	11月1日	関西	4	5	
	28	福岡	福岡水産高等学校	12月6日	西部	3	6	
	29	宮崎	宮崎海洋高等学校	2月14日	西部	6	10	
	30	鹿児島	鹿児島水産高等学校	12月8日	西部	5	7	
	工業	31	奈良	王寺工業高等学校	6月6日	関西	2	3
	商船高専	32	富山	富山高等専門学校	6月1日	関西	9	11
		33	三重	鳥羽商船高等専門学校	6月16日	関西	7	8
		34	愛媛	弓削商船高等専門学校	12月6日	四国	9	10
		35	広島	広島商船高等専門学校	1月17日	中国	8	10
		36	山口	大島商船高等専門学校	12月12日	西部	6	8
	大学	37	東京	東京海洋大学(旧水産・商船)	2月16日	関東	3	5
	37校						217	284

(※)印 総連合会船員対策委と合同

海上技術学校・同短大	8	67	86
水産高等学校	22	106	143
工業高等学校	1	2	3
商船高等専門学校	5	39	47
商船系大学	1	3	5
計	37	217	284
前年度対比	+10	+39	+56

Ⅲ. 学校訪問における主な意見交換内容（抜粋）

【 学校側の所見、要望等 】

- (1) 学校訪問等による継続的な業界説明を望む。(全学校)
- (2) 離職理由に、乗船期間、休暇が事前の説明と違うとの声もあり、採用間もない頃は、乗船期間や事前説明で配慮願いたい。(海技学校・短大、水産、高専)
- (3) 今年の求人、就職内定状況は好調、今後も継続的な求人を要望。(全学校)
- (4) 内航タンカーの求人票を望む。(水産高校、高専等)
- (5) 女子船員の求人拡大を望む。(海技学校・短大、高専)
- (6) 求人票公開、乗船実習時期に学校・短大委また学校毎に差異があり、面接・試験日等に会社側の配慮を望む。(海技学校・短大)

【 内タン訪問者の所見等 】

- (1) 学校との継続的な関係の構築が必要。
- (2) 内航タンカーの業界自体が認知されていない学校もあり、地道なPRが必要。
- (3) 生徒への説明は、学校によって簡易な内容と専門的な内容を使い分ける必要あり。
- (4) 学校の先生自身に内航タンカーの知識が無い方が多く、先生への説明も必要。
- (5) 商船高専生徒は、内航には来ないという認識を改める必要あり。

【 生徒からの主な質問 】

- (1) 内航タンカー船員の仕事(荷役、航海、危険性、新人船員の研修等)
- (2) 内航タンカー船員の労働条件(給料、休暇、船内生活、賄い、陸上勤務の有無等)
- (3) 企業が求める人材(性格、年齢制限、海技免状種類、他の資格、女子船員の採用等)
- (4) 業界の将来(原発・火力等のエネルギー事情、船腹の需給、省エネへの取組み等)

IV 合同就職面接会、内航タンカ見学等

当組合で初めて合同就職面接 会開催（7月28日 焼津水産高 校）

当組合で実施している学校訪問の一環で、7月28日焼津水産高校において、合同就職面接会（就業フェア）を開催しました。

これは、7月13日焼津水産高校訪問後に学校側より「学生数名が企業との面談の機会を望んでいる」との要請を受け当組合で企画し、参加組合員を募って実施したものです。

当日、面接に臨んだ学生は、同校本科3年生9名（甲板6名、機関3名）で、ご父兄4名も同伴の上、組合員企業3社（船主2社、運航社1社）との合同面接会が2時間半にも及んで真剣に実施されました。

終了後、学生、組合員企業双方から大変有意義で好感触を得たとの感想があり、学校側から、来年も同様な機会の場を設けて欲しいとの要請がありました。

今回の合同面接会は当組合初めての試みでありましたが、今後の船員募集活動への大きな足がかりとなる可能性を得ることが出来ました。



合同面接会の模様（焼津水産高校）

京都海洋高校の生徒が内航タンカーを見学

10月23日（日）泉大津の小松埠頭にて、京都海洋高校の生徒（2年生19名、教員2名）が、499G/Tの石油タンカーの船内見学を実施しました。

京都海洋高校は、当組合関西支部が毎年学校訪問を実施し、かねてよりタンカーを見学したいとの希望が出ていたため、近畿内航船員対策協議会とのタイアップにより実現したものです。

また、同日、大阪港天保山船客ターミナルに「内航船員紹介ブース」を出展するなど、生徒や保護者へのPRが行われました。



V 海技教育機構との懇談会議事概要

海技教育機構との懇談会実施 (船員対策委員会)

7月8日、横浜の合同庁舎会議室において、当組合の船員対策委員会と海技教育機構の懇談会が開催されました。双方の現状、求人・就職状況、各校や練習船での教育のあり方、学校訪問活動等について幅広く意見交換を実施し、今後一層の協力を双方が確認しました。

当組合出席者：内藤委員長ほか15名、機構：野崎理事長ほか12名



挨拶する内藤船員対策委員長

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会・海技教育機構
懇談会 議事要旨

日 時 : 平成 28 年 7 月 8 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 30

場 所 : 海技教育機構会議室 (横浜第二合同庁舎)

出席者 :

(機構)

野崎理事長、阪本理事、大藤理事、引間理事、高田審議役、下川航海訓練部長、
田村航海訓練次長、熊上実習訓練課長、藤江実習訓練課総括、船津学校教育部長、
片岡教務課長、鈴木募集就職課長、森田募集就職係員

(内タン)

内藤委員長 (邦洋海運(株))、高橋副委員長 (昭和日タンマリタイム(株))、戎谷 (旭
タンカー(株))、栗田 (田渕海運(株))、木下 (鶴見サンマリン(株))、嶋村 (浪速タ
ンカー(株))、松浦 (幸福船舶(株))、北 (日新船舶(株))、三谷 (三谷海運(株))、阿部 (株
霧島海運商会)、庭瀬 (明神海運(株))、松波 (株辰巳商会) 各委員、佐藤代理及川
(上野トランステック(株))、古川、淵、山口、目次 (事務局)

懇談会要旨 :

- ・ 内藤委員長より、毎年多数の内航タンカー船員を輩出頂くことへの謝意を述べ、航海訓練所と統合された貴機構とは、より幅広い分野での意見交換により相互理解を図り、また、本年度も学校訪問により学生と企業とのミスマッチ解消に向け継続した活動を実施するので、各社の活発な船員募集活動に協力願いたき旨挨拶。
- ・ 野崎理事長より、内航タンカー各社が卒業生多数の採用 (本年 4 月は 107 名) と夏期休暇中の体験乗船等、多岐に亘ってのご協力を謝意を述べ、統合した機構は、J mets (ジェメツ) のニックネームで親しんでもらいたき旨、また、毎年各校の訪問では、学生にとって進路を決める大事な時期に業界から生の声を聞ける貴重な機会となっており、また、教員にとっても大変有意義であり、今後も良好な関係を維持したき旨挨拶。

1. 内航タンカーの現況報告

事務局より、次の通り報告。

(1) 組合の現況 (平成 28 年 3 月末現在)

- ・ 組合員数 574 社、登録船 927 隻、906 千 G/T、1,677 千 m³
- ・ 全国に 7 つの支部、職員数計 15 名

・常設の委員会等 7、荷主との連絡会 2、船員対策委員会は昨年度常設に格上げ。

(2) 輸送量（平成 25～27 年度）

- ・白油 … エコカー普及等で販売量減少も、製油所間輸送等で横ばい。
- ・黒油 … 24 年度までは原発停止により電力向け需要が増加したが、その後 LNG、石炭へのシフトが進み、27 年度は震災前の水準。
- ・ケミカル … 中国需要の落ち込み、国内エチレン減産も、輸出増等で微増。
- ・特タン … 同様に内需不振も、品目毎の回復もあり全体で微増。

(3) 船腹量（平成 25～27 年度）

- ・白油船 … 大型船の代替えが一段落し、隻数、船腹量は微減。
- ・黒油船 … 同様に隻数、船腹量とも微減。
- ・ケミカル船 … 毎年、隻数、船腹量とも漸減傾向。
- ・特タン船 … 特に小型船の減少が顕著、LNG 等の新規大型船は増加。

(4) 船齢区分（平成 27 年 10 月現在）

- ・バブル期の大量建造船が 20～25 才となっているが、代替が進んでいない。
- ・船齢 16 年以上が約 50% と高齢化。

(5) 内航タンカー船員実態

- ・平成 27 年 10 月現在、調査回収率 72% の実態調査によると、内航タンカー船員の平均年令 48.0 才、50 才以上 55% と高齢化しているが、各社新卒採用の増加から 25 才未満割合は 10% と徐々に増加。推計船員数合計は 8,680 名。
- ・内タン各社の新卒採用数は、毎年 100 名以上を確保し、平成 25 年からは 235 名、26 年は 239 名、27 年は 240 名と顕著に増加。その内、海技学校卒業生の採用数は、各 140 名、126 名、120 名と学校機関別では 5～6 割を占める。

(6) 平成 27 年度学校訪問実績

- ・20 年度より各支部毎にチームを組み、海上技術学校、水産高校等を訪問
- 27 年度は、海上技術学校 7 校、水産高校 13 校、工業高校 1 校、高専 5 校、大学 1 校、計 27 校を訪問。関心は高く、昨年は参加会社・人数とも大幅に増加。
- ・28 年度は 33 校の訪問を計画し実施中。

2. 機構の求人・就職状況報告

事務局より、次の通り報告。

(1) 入学状況（本科・短大）

- ・入学定員 … 本科定員 140 名、短大定員 250 名、計 390 名
- ・28 年度応募 … 本科 2.1 倍、短大 3.9 倍

(2) 海技試験合格率

- ・27年度卒業生（4級航・機両用の合格率）… 短大 97%、本科 78%

(3) 求人状況（本科、専修科、海大）

- ・毎年 350 名前後の就職希望に対し海上求人（官庁等除く）は、26 年度 383 名、27 年度 538 名、28 年度 770 名と 3 年間で大幅に増加。
- ・内航の求人は、全体の約 6 割。
- ・28 年度の内航タンカー各社の求人は 72 社、277 名と好調。（6 月末現在）

(4) 就職状況（本科、専修科、海大）

- ・過去 5 年間の海上就職者の内、内航の割合は約 6 割、内 5 割が内航タンカー。

(5) 就職のタイムスケジュール

- ・短大の 28 年度の求人取扱いは就職協定変更から前倒し。本科は変更なし。
- ・本科及び乗船実習科、短大（宮古・清水と波方）、海技大学校それぞれ、乗船実習期間の違いから生徒の就活時期が異なるため、企業側の配慮希望。

(6) 卒業後の動向アンケート

- ・卒業生へのアンケート結果では、卒業後 3 年以内の離職率が 5 割強と高く、その後は落ち着く傾向。（厚労省の陸上産業アンケートでも同じ傾向）
- ・転職後の職種は、海上職への復帰が約 7 割。
- ・転職理由として多いのは、人間関係、休暇、仕事、給料の順。

3. 機構の練習船実習概要報告

(1) 訓練の概要

- ・訓練船…5 隻それぞれの特性を生かし運用（大成丸…内航用、銀河丸・星雲丸…大型の機材等装備、日本丸・海王丸…帆船＋汽船の訓練）。
- ・内航船員教育…内航船員養成プログラムの中で訓練のノウハウを適宜見直し。
- ・航海訓練の例…大成丸で沿岸 3 海里付近を航行、単独当直や輻輳海域や狭水道を経験。
- ・機関訓練の例…機関監視、補機の運転、電気装置取扱い、トラブル発見、ピストン抜きで図面、工具取扱い習得。
- ・出入港訓練の例…船橋での操舵、船首配置での機器取扱い、バウスラスター等操作、機関室での船橋とのやりとり等。
- ・シュミレーター訓練の繰り返しによる活用。

(2) 安全訓練

- ・安全に関する習熟訓練…練習船に乗船した直後に毎回行う各種安全訓練。
- ・各種実習における教育…航海当直、出入港、機関運転、保守、応急・操練等。

- ・安全対策・安全管理（ISMコード）に関する訓練…事故事例の活用、手順書の確認、危険作業と安全要具体験、KYT及びリスクアセスメント等。

(3) 安全意識の醸成

- ・船内規律、船内生活セルフコントロール、船内衛生、健康管理、時間遵守等。
- ・外部アドバイザーによる特別講義、教官への指導等。

4. 質疑応答、意見交換

(内タン) 人間関係が離職理由のトップだが、具体事例はあるか？また、船会社に対する改善への苦言はないか？

(機 構) 上司のパワハラ、いじめ、相談出来る場所が無い、酒の付き合い等が人間関係の具体的理由にあげられている。

(機 構) 機構組織の中にもパワハラ等があることから、撲滅宣言した上で相談員等の制度があるが、船会社としての対応はあるか？

(内タン) 当社では、陸上及び船の中で相談窓口の担当者を決めており、他社でも同様かと思われる。

(内タン) 当社では、新人を数隻に乗船させ、各船複数の管理者から新人の評価を得て、本人の適正等を見極めるようにしている。また、ISMの関係から、陸上やドックでの研修等、船内以外でも安全を媒体にコミュニケーションを取る機会が多いことが定着率向上につながっている。

(内タン) 最近の若者はまじめだが大人しい子が多い。海技士セミナーでも、短大の生徒に比べると本科の生徒は職業への本気度合いが伝わりにくく、在学中に船員として給料を稼ぐ職業人としての意識付けをお願いしたい。

(内タン) 当社でも、現在の船・機長は叩き上げで鍛えられた世代であり、若者の指導方法にもその傾向が見られたため、年2回の研修で、指導する側の意識改革を行うようにしている。

(機 構) 機構でも5隻の船を運航する中でハラスメントの問題があるが、教える側も仕事、教わる側も仕事と、双方が職務意識を向上させるよう指導している。

(内タン) 海上衝突予防法の教育、自船の位置確認の方法、狭水道等での自・手動操舵の別、ヒービングラインの運用、短大生と本科生の実習船での教育の違いを確認したい？

(機 構) 海上衝突予防法は、海上交通安全法、港則法と同様に教育。位置確認はGPS、ECDIS等。操舵は手動が大半。レッドは手で投げている。短大生、本科生の教育内容は同じだが、本人の特性をみて生活又は仕事面等の重点指導項目を使い分けている。

(内タン) 機構からみて、タンカー会社の改善点等はないか？

(機 構) 3ヶ月の乗船期間の問題は良く出るが、特に入社間もない頃は、本人が3ヶ月で下船出来ず、SNSを通じ仲間が休暇を楽しんでいる情報が入ると、離職のきっかけになってしまう場合がある。

(内タン) 最初の下船時、彼女が出来た時、子供が出来た時などが、辞めるきっかけとなるので、会社でも注意している。

(機 構) 給料や待遇の良い会社へ、次から次へ渡り歩く船員がいて、最終的には各社から敬遠されるようになってしまったという事例を聞いたが、タンカーの船員でも同じようなことがあるのか？

(内タン) タンカーの場合、安全問題を中心に船内のチームワークとピラミッド型の指揮命令系統を重視しており、中途採用時に数社を渡り歩いている経歴がある場合、不利になる可能性がある。

(内タン) タンカー業界では、東日本大震災後の一時期、大型船投入、ダブル運航等により船員数がタイトとなり、長期乗船等を余儀なくされた時期はあったが、現在は、新卒採用者を社内で育て、予備員率を上げ、予定通り休暇を与えられる体制を整備する時期に来ている。

(機 構) 短大生、本科生とも5年以内の離職率が3~4割になるが、会社からみて就職時に年齢の違う短大生、本科生で、会社の対応に違いはあるか？

(内タン) 会社では相違は無く、本人の実力、資質、免状によりプロモートする。

(内タン) 機構では、適正な乗船期間はどの程度と考えるか？

(機 構) 機構では、中学校等へ生徒の募集活動を行う際でも、船員の職場は通常3ヶ月乗船、1ヶ月休暇と一環して説明しているが、実際には3ヶ月が長いと感じている若者もいるようで離職理由にも出ている。

(機 構) 人間関係が原因で退職した若者を、横の連絡で業界の中につなぎとめておく手立ては無いか？

(内タン) 退職の本当の理由が分からない面はあるが、見どころのある者には戻って

来ても良いと言って、陸上転職後、実際に戻ったケースもある。各社とも自分の会社は辞めても、業界の中にとどまっていた欲しいとの気持ちは持っている。

(機 構) 機構の定員枠 390 名の拡大、練習船の乗船枠不足等の改善策として、社船実習の制度があるが減少傾向であり、問題点等があるのか？

(内タン) 社船実習制度のPRを行い、説明会などでも理解を求めていくことが必要かと思われる。また、タンカー各社では、新人採用を積極的に行っており、員外で教育のため乗船させている関係で、部屋に余裕がない場合もある。

(内タン) 社船実習の要件は 1,000GT 以上となっているが、内航タンカーでは 2 名当直は 750GT 以上であり、従来の 749GT 型も船員室に余裕を持った 800GT 以上の新造船として代替される傾向であるため、1,000GT の枠が外れれば対象船が広がる。

(機 構) 練習船の要件 (古い告示) が 1,000GT であり、商船の実態と合わないのであれば、今後、検討の余地があるかも知れない。

(機 構) 小型船舶操縦士の取得は、内航船で必要とされるか？

(内タン) 交通艇を利用するため必要。

(内タン) アドバイザーは 2 社で出すことになっているが、2 社から甲・機各 1 名、計 4 名となっても良いか？

(機 構) 機構、練習船でも問題が無い。

※ 予定時刻となったため、質疑応答は打ち切ることにしたが、残された質疑等があれば、後日、事務局間で取りつなぐこととした。

以 上

VI. 水産高校生の求職希望に対する情報提供

本年度は、全国各地の水産高校より、運輸局、地区の船員対策協議会、内航総連合会宛、内航船への求職希望生徒のリストが地区や学校毎にまとめられ、下表一覧の通り業界に一覧の通り業界に情報提供があった。このため、組合員の就職活動の一助に供するため、メール網等を活用して即時に組合員へ通知した。

地域	都道府県	学校	合計											平成27年度実績 (平成28年3月卒業生)				
			本科			専攻科			甲板・機関別			本科・専攻科別			本科	専攻科	合計	
			甲板	機関	計	甲板	機関	計	甲板	機関	計	本科	専攻科	計				
北海道	北海道	小樽水産高校	2		2				2		2	2		2				
	北海道	函館水産高校					9	9		9	9		9	9				
東北	青森県	八戸水産高校				6	5	11	6	5	11		11	11		9	9	
	岩手県	宮古水産高校	2		2	7		7	9		9	2	7	9		3	3	
	宮城県	気仙沼向洋高校				4		4	4		4		4	4	5	3	8	
	宮城県	水産高校	4	10	14	2	3	5	6	13	19	14	5	19	3	5	8	
	秋田県	男鹿海洋高校																
	山形県	加茂水産高校		1	1						1	1	1		1	3		3
	福島県	いわき海星高校														6	6	
関東	茨城県	海洋高校	4		4				4		4	4		4		4	4	
	千葉県	館山総合高校	2		2				2		2	2		2	1	1	2	
	東京都	大島海洋国際高校													2		2	
	神奈川県	海洋科学高校	3 (1)		3 (1)	7	6	13	10 (1)	6	16 (1)	3	13	16		7	7	
北信越	新潟県	海洋高校	3	1	4				3	1	4	4		4	2		2	
中部	静岡県	焼津水産高校	1		1				1		1	1		1	1		1	
	愛知県	三谷水産高校				2	2	4	2	2	4		4	4				
	三重県	水産高校																
近畿	京都府	海洋高校												2		2		
中国	鳥取県	境港総合技術高校												2		2		
	島根県	隠岐水産高校													3	3		
	島根県	浜田水産高校													5	5		
四国	徳島県	徳島科学技術高校	1	1	2				1	1	2	2		2	4		4	
	香川県	多度津高校	4	2	6				4	2	6	6		6	8	10	18	
	愛媛県	宇和島水産高校	3	3	6	3	2	5	6	5	11	6	5	11		8	8	
	高知県	高知海洋高校	1	1	2	1	1	2	2	2	4	2	2	4	2	7	9	
九州	福岡県	水産高校												12	8	20		
	長崎県	長崎鶴洋高校	2	3	5				2	3	5	5		5	8		8	
	熊本県	苓洋高校	4		4				4		4	4		4	5		5	
	大分県	津久見高校海洋科	4		4				4		4	4		4	2		2	
	宮崎県	宮崎海洋高校	5	2	7				5	2	7	7		7	30		30	
	鹿児島県	鹿児島水産高校	1	1	2				1	1	2	2		2	3	4	7	
沖縄	沖縄県	沖縄水産高校												5		5		
	沖縄県	宮古総合実業高校	4	4	8				4	4	8	8		8	3		3	
			50 (1)	29	79 (1)	32	28	60	82 (1)	57	139 (1)	79	60	139	103	83	186	

曳船、旅客船、フェリー、官公庁船、作業船、調査船、漁船は対象から外しています。

単位:名、()は女子で内数

平成28年度
船員対策委員会
委員名簿

(13名、順不同)

委員長	内藤 吉起	邦洋海運(株) 代表取締役社長
副委員長	高橋 洋一	昭和日タンマリタイム(株) 代表取締役社長
委員	戎谷 正志	旭タンカー(株) 人事部長
〃	佐藤 典彦	上野トランステック(株) 常務執行役員
〃	栗田 克己	田淵海運(株) 取締役常務執行役員
〃	木下 一也	鶴見サンマリン(株) 船舶安全本部船舶グループ副部長
〃	嶋村 賢治	浪速タンカー(株) 取締役船員部長
〃	松浦 一夫	幸福船舶(株) 代表取締役
〃	北 雅之	日新海運(株) 取締役海務部長
〃	三谷 秀明	三谷海運(株)代表取締役
〃	阿部 和久	(株)霧島海運商会 代表取締役常務
〃	庭瀬 秀男	明神海運(株) 代表取締役
〃	松波 道男	(株)辰巳商会 海運部課長

以上

別紙

学校訪問報告書

訪問学校名	国立小樽海上技術学校		
訪問年月日	平成 29 年 2 月 3 日 (金)		
訪問者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	幸洋汽船株式会社	代表取締役	藤澤敏則
	三興運油株式会社	代表取締役	土井秀一
	鶴見サンマリン株式会社	船舶グループ 副部長	木下一也
	鶴見サンマリン株式会社	安全監督	久保直輝
	(株)エスワイプロモーション	取締役海運事業部長	野間 司
	株式会社霧島海運商会	取締役	阿部信弘
	国華産業株式会社	運航管理部担当部長	原田浩二
	昭和日タンマリタイム	代表取締役社長	高橋洋一
	全国内航タンカー海運組合	海工務部長	山口孝次
学校側面談者 (氏名・役職)	五井校長、黒田指導課長・就職担当、中山教務課長、近藤教諭、 本山航海科教諭、上出教諭、後藤教諭 生徒 (1～2 年生 64 名)		
実施事項	①学校側懇談 ②生徒全体説明		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>学校側との面談</p> <p>○ 09:50~10:20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五井校長の指揮下、面談会場、資料、各教諭の発言もよく準備されていた。 ・出席教員一人ひとりから現状と所感について発言があった。訪問者も自己紹介のあと積極的な意見交換が行われた。 <p>生徒との面談</p> <p>○ 10:30~12:20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より訪問の趣旨を説明。内タン作成の DVD 視聴の後、各訪問者から自己紹介。 ・生徒からの質問事項に訪問者一人一人に振り分けて回答。 ・訪問者から生徒への質問も行った。 <p>○入手資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 9 月 1 日付学校要覧 ・2017 年度用学校案内 			
訪問時の 求人数	(人)	訪問経費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	宮古海上技術短期大学校
訪問年月日	平成28年10月28日 09:20～12:30
訪 問 者	土井（三興運油(株)）、及川（上野トランステック(株)）、木下・久保（鶴見サンマリン(株)）、小野寺（昭和日タンマリタイム(株)）、原田（国華産業(株)）濱田（(株)デュカム）、阿部（(株)霧島海運商会）、藤澤（幸洋汽船(株)）、目次（事務局）
学校側面談者	森校長、高石教頭、佐々木教務課長、野崎学生課長ほか
実施事項	(1)学校側懇談 (2)生徒全体説明
懇談・意見交換概要	
<p>(生徒全体説明) 1年生 約45名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワポイントで内航タンカー全般説明、事業者から求める人材等説明、質疑応答。 <p>(生徒からの質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デッキとエンジンで荷役で気をつける点？ ②海の仕事で嫌いになる理由、離職率は？ ③部屋は完全個室か？自動バルブの装着率は？ ④女性の採用はあるか？ ⑤34歳でも採用可能か？ ⑥陸上勤務の体制を教えて欲しい？ ⑦乗船3ヶ月が延びることは？ ⑧機関長になるには最低何年かかるか？ ⑨船内での休暇はあるか？ ⑩ケミカルタンカーのタンク洗浄方法は（ドック時も含め）？ ⑪岸壁に着ける頻度は？ ⑫陸上勤務に変わることはあるか？ ⑬ケミカルタンカーは乗らない方が良いと言われたが？ ⑭乗船時に持って行く物は？ ⑮乗船中に海技免状の勉強は可能か？ <p>(先生との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞めてしまう生徒がいる。乗船期間延長も理由。休暇の確保を希望。 ・船内でコミュニケーションを図る重要性を生徒に説明して欲しいとの要望あり。 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	館山海上技術学校		
訪問年月日	平成29年2月28日		
訪問者 (氏名・社名・役職)	13:20～14:10 教職員との懇談		
	14:20～15:40 生徒への業界説明と懇談		
	三興運油(株):土井社長、浪速タンカー(株):嶋村(取)船員部長、上野トランステック(株):及川海務課長、 国華産業(株)原田運航管理部部長、鶴見サンマリン(株):山田二機士、(有)六甲船舶花崎(代取) 内航タンカー組合:山口		
実施事項(○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (1)生徒全体説明 <input checked="" type="checkbox"/> (2)学校側懇談 (3)個別就職面談 (4)懇親会		
	懇談・意見交換概要(別紙添付も可)		
	<p>1. 学校面談者:(校長)黒島 義春 (教頭)佐々木 透 その他5名の教員</p> <p>2. 生徒への説明:1年生 40名、2年生:45名</p> <p style="margin-left: 20px;">1)DVD鑑賞に引き続きパンフレット紹介</p> <p style="margin-left: 20px;">2)各参加事業者の自己紹介</p> <p style="margin-left: 20px;">3)事前に学校側から入手していた生徒からの質問事項について、各参加者に回答を振り分け対応した。</p> <p>3. 学校側からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現3年生の卒業後の進路について、36名全員確定。タンカーケミカルは11名と突出していた。 その他はタグ6名、客船3名、大学進学6名等 ・直近では入試競争率の低下、機関部志望比率が低減していることが懸念材料。 		
	<p>所見)今回口頭によるアンケートを挙手を持って以下ついて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカーに乗りたいと思っている人⇒ 9名 タグ⇒10名、客船10名、ローロー船10名 ・タンカーだけには乗りたくないと思っている人 ⇒ 0名 <p>生徒との懇談会中の態度</p> <p>生徒から挨拶の声も元気があり、説明対しメモを取る生徒が多く、好感のもてる雰囲気であった。</p>		
訪問時の求人数		訪問経費 (内タンへの請求金額)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

学校名	清水海上技術短期大学校
年月日	平成28年10月5日 13:20~16:00
訪問者	藤澤 (幸洋汽船)、千守 (興栄海運)、小野寺 (昭和日クマタ)、木下・久保 (鶴見マリン)、阿部 (霧島海運商会)、桐山 (上野トランスック)、松重 (芝浦海運)、原田 (国華産業)、遠藤 (六甲船舶)、山口・目次 (事務局)
学校側	吉田校長、遠藤教頭、毛利学生課長ほか (清水短大)
実施事項	(1) 先生との懇談 (2) 生徒全体説明
懇談・意見交換概要	
<p>(先生との懇談概要)</p> <p>応募者は前年度比急増 (356→507名)、実質受験倍率 3.18 倍</p> <p>求人数は 10 月現在でほぼ前年度 1 年間分と同じ (船会社 210 件)</p> <p>10 月現在 51 名内定 (内、タンカー会社 9 名、前年度はタンカー会社へ 22 名就職)</p> <p>海上就職希望者残り 51 名も就職活動中 (試験結果待ち含む)</p> <p>(生徒全体説明) 1 年生 115 名 (内、女子 9 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DVD スライドで内航タンカー全般説明、質疑応答。 ・ 生徒との質疑…内航タンカーへの具体的な質問が次の通り出され、各社から実例をあげて回答した。 <ol style="list-style-type: none"> ①油濁防止管理者の船内での職務内容、またどの立場の人間が選任されるか?…一航士が任命、油をか海上含む船外に出さないことを基本に管理。 ②会社を選ぶにあたり重視すべき点は?…本人それぞれがどこに重点を置くのだが、休暇、船内の食事、給料の三点が一般的な判断基準。 ③タンカーの乗組員の数は?…大型船で 11 名前後、中型で 6~7 名、小型では 3 名もある。 ④タンカー乗組員の仕事で、どのような作業が危険か?…白油は引火性があり火気厳禁、黒油は海洋汚染等色々な作業面で安全管理がかかせない。 ⑤若手の育成には何を重点に行うか?…現場で身につける OJT が重要。年齢層の近い世代に指導役を任せるが、判らない点を積極的に聞く等の姿勢が重要。 ⑥女性船員としてタンカーに乗りたいが雇用状況はどうか?…全ての会社が女性を採用する体制にはなっていない。採用している会社もあるので学校から情報を得て欲しい。 ⑦数十年後に石油が枯渇し、タンカーの需要が無くなる心配は無いか?…統計的に石油消費が減少していくであろうが、あなた方の働いてる間にタンカーの仕事が無くなるとは考えられない。 ⑧タンカーに乗るに当たって在学中に取得する資格はあるか?…海技免状と学校の勉強で良い。資格は会社入社後に必要な都度取得していく。 ⑨タンカー船員の固有の仕事はあるか?…DVDにもあった通り、荷役作業を船員自らが行うことが貨物船との違いである。 ⑩SESの特徴は、また、増えていくのか?…船内が静かなこと、CO2 排出が少ないなどが特徴、担当として増やしたい気持ちはあるが、船価が高いので経済的なバランスの兼ね合いが必要。 ⑪内航タンカー船員の魅力は?…仕事はハードだが逆にやりきった時の達成感は大い。 ⑫船員が荷役を行わない方向にはならないのか?…現状で船員の手から離れることは考えられないが、自動荷役や省力化の導入は進んでいく。 ⑬他の乗組員の急用で自身の休暇が取れないことはあるか?…緊急時だと若干ずれこむことはあるが、年間を通せば休暇日数は確保される。 ⑭脂い食は個人の希望は反映されるか?…持病で食事制限がある場合を除き基本的には全員が同じものを食べる。全く融通が効かないという意味ではなく、会社でも乗組員希望を反映している。 <p>(一部質疑事項省略) 以上</p>	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	唐津海上技術学校		
訪問年月日	平成 28 年 10 月 20 日 (木)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	三興運油株式会社	代表取締役	土井秀一
	上野トランステック株式会社	海務部長	桐山和広
	鶴見サンマリン株式会社	船舶グループ 副部長	木下一也
	〃	船舶グループ 海務監督	久保直輝
	興栄海運株式会社	取締役	千守晃輔
	株式会社霧島海運商会	取締役	阿部信弘
	日之出海運株式会社	取締役工務部長	清水 豪
	国華産業株式会社	運航管理部担当部長	原田浩二
	昭和日タンマリタイム	船員グループ 担当マネージャー	竹駒勇治
	旭タンカー株式会社	人事部船員チームリーダー	山下 昭
	昭祇汽船株式会社	船舶部次長	名古屋和浩
	宮崎海運株式会社	海務部長	尾崎 吏
	〃	海務課長	長野生樹
	全国内航タンカー海運組合	海工務部長	山口孝次
〃	西部支部 事務局長	佐藤孝俊	
学校側面談者 (氏名・役職)	園田校長、野村教頭、松本教務課長、橋本指導課長 生徒 (1~2年生 85名、全員男子生徒)		
実施事項	① 生徒全体説明 ② 学校側懇談		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			

- 1～2年生 85名に対し次の説明
 - ・ 訪問の趣旨
 - ・ 内航タンカーの役割、活動、設備等 (DVD 等)
- 生徒からの質問事項
 - ・ 荷役時間はどのくらいか？
 - ・ 航海中に一番気を付けていることは？
 - ・ 新人船員に一番大切なことは？
 - ・ 優秀な船員とは？
 - ・ 入社前に必要な心構えは？
 - ・ 必要な海技免状や資格は？
 - ・ タンカー船には何人の船員がいるのか？
 - ・ タンカー船で一番大変なことは？
 - ・ 荷役に体力が必要か？
 - ・ スーパーエコシップとは？
 - ・ どういう人材を求めているか？
 - ・ 司厨員は乗っているのか？
 - ・ 危険物の取り扱いで、トラブルを防ぐために大事なことは？
 - ・ 内航船から外航船へ変わることはできるのか？
 - ・ 機関と甲板の両方の免許を取って乗船した場合、他方を手伝ったりすることはあるのか？
 - ・ 乗船中の一番の楽しみは何か？
 - ・ 航海士氏の仕事で、タンカーが他の船種と違うところは？
 - ・ 白船と黒船の違いと、それぞれの荷役は？
 - ・ 陸上勤務はどれくらいのペースで回ってくるのか？
- 生徒への質問事項
 - ・ 3か月乗船は長いと思うか？ …… 30名くらい
 - ・ 船に乗りたいと思っているか？ …… ほぼ全員
 - ・ 内航タンカーに乗りたいと思っているのは？ …… 13名
- 学校からの要望
 - ・

訪問時の 求人数	(人)	訪問経費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)
-------------	-----	-------------------------------	-----

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	口之津海上技術学校		
訪問年月日	平成 28 年 11 月 21 日 (月)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	三興運油株式会社	代表取締役	土井秀一
	上野トランステック株式会社	海務部長	桐山和広
	鶴見サンマリン株式会社	船舶グループ 副部長	木下一也
	株式会社霧島海運商会	取締役	阿部信弘
	日之出海運株式会社	取締役工務部長	清水 豪
	国華産業株式会社	運航管理部担当部長	原田浩二
	昭和日タンマリタイム	船員グループ 担当マネージャー	竹駒勇治
	旭タンカー株式会社	人事部船員チームリーダー	山下 昭
	全国内航タンカー海運組合	海工務部長	山口孝次
	// 西部支部	事務局長	佐藤孝俊
学校側面談者 (氏名・役職)	中嶋校長、枝元教務課長、永田指導課長 生徒 (1~2 年生 65 名)		
実施事項	① 生徒全体説明 ② 学校側懇談		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>○ 1~2 年生 65 名に対し次の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問の趣旨 ・ 内航タンカーの役割、活動、設備等 (DVD 等) <p>○ 生徒からの質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗船中の休みは？ ・ 求められている人材は？ ・ 在学中にしていたほうが良いのは？ ・ 乗船中に一番気を付けないといけないことは？ ・ 乗船中の服装は？ ・ 乗組員数は？ ・ しけの時な対応は？ ・ 初めての乗船時はどんな仕事をするのか？ ・ 乗船中、仕事以外の時間は何をしているのか？ ・ 内定後に資格が取れなかったらどうなるのか？ ・ 荷役中は陸上に降りられるのか？ <p>○ 生徒への質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>○ 学校からの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 			
訪問時の 求 人 数	(人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	独立行政法人海技教育機構 国立波方海上技術短期大学校
訪問日	平成 28 年 11 月 9 日
訪問者	四国支部長 山本 宗宏 他 15 名(別紙訪問者出席表添付)
学校側面談者	校長 吉田 宗弘・教頭鶴田誠・学生課長今信一・庶務課長高平恵一
実施事項	第一部学校側と組合側の現状説明会 第二部生徒全体への説明会 第三部情報交換懇談会

第一部 学校側と組合側の現状説明会 (学校関係 4 名・組合側 16 名)



第二部 生徒全体への説明会 (1 年生 88 名)



第三部 事業者と学校側との意見交換・懇談会



学校訪問の概要

(1) 上記の実施事項欄の3部会にて実施した。

(2) 部会別では

第一部 学校と組合の現状説明と情報交換会

・学校作成資料の説明

資料1の受験者数 352名 入学者数 90名 (重複受験者を控除後では247受験者となる。) $352 \div 90 = 3.9$ 倍 4倍を超えると翌年応募者が減少する傾向があるため学校としては現状が望ましい。

資料2 受験者の出身地では関西地区出身者が急伸している。(12.5%~26.7%)

資料4 27年度卒業者のタンカー就職者 26名 34%

資料5 28年度卒業者のタンカー内定者は昨年比減少傾向

第二部 生徒への説明会

・参加組合員の自己紹介並びに山口海工務部長から冊子説明とDVD『内航タンカーはいま、若い力をもとめています』放映し極めて解りやすく、また高質な説明を実施。その後、生徒からの質問に対し参加企業者が応えた。

・第一部会議で教諭から、内航タンカー会社を目指す生徒13名と報告を受けていたが、説明会終了直前では19名に増加しており、内航タンカー海運組合や参加企業が身近にまた、絆が出来たと確信した。

・質疑内容の質問事項、

新入社者の定着率と退職理由。 入社 of 事前習得すべき技能・知識は

ありますか。タンカー船独特の規則はありますか。ケミカル等船種独特の仕事ありますか。タンカー船員として特に求められる人材はどのような人ですか。タンカー船では荷役作業のため買出し等の時間が取れないのでしょうか

第三部 情報交換並びに懇談会

- ・教室・宿泊施設ともに手狭と老朽化が進み苦慮している。
- ・教員数は日常業務では充足しているが、面接試験等は応募者が増加しており他校から支援を頂いている。
- ・エントリー企業を学校は指導していないと聞いている、今後も継続頂きたい。

(3) まとめ

同校から毎年多数の卒業生が支部組合員企業に入社している事もあり従来から極めて良好な関係を維持してきた。
 今後も両者が安心と安全を求める生徒の教育と企業体質を維持する事を共感しつつ終了した。

以上

訪問時の 求人数	海上求人 陸上求人	訪問経費 領収書添付	懇談会弁当+お茶代+土産代 45,246円
-------------	--------------	---------------	--------------------------

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	独立行政法人 海技教育機構 海技大学校		
訪問年月日	平成29年 3月30日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	矢野道雄 (田渕海運(株)) 三吉光雄 (鶴見サンマリン(株)) 土井秀一 (三興運油(株)) 三井 誠 (中央海運(株)) 原田浩二 (国華産業(株)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	田辺校長 前田学部長 仲野管理部長 奥田航海科教授 遠藤航海科准教授		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>同校 上記教授と懇談を実施 本日来校の趣旨説明。 同校より生徒の就職状況など 説明を受けた。</p> <p>今までは、表敬訪問だけを実施していたが、29年度より、生徒への出前授業を 実施したい旨要望をしたところ 快諾。</p> <p>秋口に実施する方向で、調整をすることで了承。</p>			
訪問時の 求 人 数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	北海道小樽水産高等学校		
訪問年月日	平成 29 年 2 月 2 日 (木)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	幸洋汽船株式会社	代表取締役	藤澤敏則
	三興運油株式会社	代表取締役	土井秀一
	鶴見サンマリン株式会社	船舶グループ 副部長	木下一也
	鶴見サンマリン株式会社	安全監督	久保直輝
	(株)エスワイプロモーション	取締役海運事業部長	野間 司
	株式会社霧島海運商会	取締役	阿部信弘
	国華産業株式会社	運航管理部担当部長	原田浩二
	昭和日タンマリタイム	代表取締役社長	高橋洋一
	全国内航タンカー海運組合	海工務部長	山口孝次
学校側面談者 (氏名・役職)	芹澤校長、亀山教頭、菊池進路指導部教諭、靱山海洋漁業科教諭 (学校訪問窓口) 生徒 (1 年生 9 名)		
実施事項	①学校側懇談 ②生徒全体説明		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
学校側との面談			
○ 当日は大吹雪で地元の人もこの冬一番の寒さというなかでの学校訪問となった。 校内はインフルエンザにより 2 年生が学級閉鎖中。生徒との面談は 1 年生 9 名のみとなった。			
○ 15:00~15:30 教員との面談。			
・就職状況好調。タンカーへの就職は年によって増減がある。			
・インターンシップについてフェリーはあるがタンカーは無いのか？ タンカーではまだ水産高校生の体験乗船は行われていない。教員の引率が足かせという面もある。			
・卒業後タンカーに就職する場合、ECSIS は必須か？ 就職後取得が一般的。			
○ 15:30~17:00 生徒との面談			
・一年生が対象であり、船員生活、タンカーの業務内容、休暇、給与等待遇等初歩的な質問が多かった。			
○ 当日夕方より小樽市内で訪問者 9 名により懇親会を実施した。			
○ 入手資料			
・平成 28 年度学校要覧 ・学校案内 ・小樽水産高校専攻科漁業科の紹介パンフレット			
・2017.1.31 現在 進路内訳			
訪問時の 求人数	(人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	北海道函館水産高等学校
訪問年月日	平成 28 年 12 月 12 日 15:00~17:00
訪 問 者	藤澤社長（幸洋汽船㈱）、高橋社長、高佐取締役（昭和日タンマリタイム㈱）、木下副部長（鶴見サンマリン㈱）、野間取締役（㈱エスワイプロモーション）、吉野谷主任（吉野谷海運㈱）、目次管理部長（事務局）
学校側面談者	三田村教頭、和野進路指導部長、中野教諭ほか
実施事項	(1)学校側懇談、生徒説明
懇談・意見交換概要	
<p>(生徒との懇談、質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40 名（専攻科 1 年生 8 名、本科 1~2 年生 32 名）が参加。 ・ 各社自社紹介、DVDスライドショー、パンフレットで内航タンカーの仕事等説明。 ・ 機関部は何名で運航しているか？通常 3 名、M0 装備の船で 2 名。 ・ 陸勤をせず洋上勤務は続けられるか？会社によって陸勤制度を設けている場合もあるが、希望も考慮している。 ・ 免状は何級が必要か？5~3 級。会社の船の大きさ、職務によって求められる免状が違うが、自身のスキルアップや目的をもって上級免状を目指して欲しい。 ・ フェリーや客船と違うタンカーの魅力は？一般消費者が求める荷物を運ぶ達成感、危険物等を運ぶため給料が良い点。 ・ 危険物の資格は必要か？陸の消防法上の危険物は必要ない。船員職員に要求される海防法の危険物資格は、通常、会社に入ってから取得させる。 ・ 資格試験を受けるために、乗船日・休日は調整可能か？会社で考慮する。 <p>(終了後、先生との意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内航商船の就職者は増えて来ている。毎年 4 名程度は海技短大に進学。 ・ 生徒への 3 ヶ月乗船の説明で、3 ヶ月全く陸に上がれないとの誤解があるので、荷主岸壁や月に 1 回程度の上陸もある旨補足。 ・ 5 級免状なしでも乗船可能か？5 筆記免除であれば、乗船してからの乗船履歴で可。 ・ 3 ヶ月乗船が延びてしまい、辞めてしまうとの事例を聞くが？新卒者は極力計画通り休日を付与するよう各社努力している。 ・ 水産高生に求める人材は？やる気、聞ける力、コミュニケーション能力、現場と仕事内容のプロ意識を早く持つこと等。 ・ 最近の若い人は、怒られると辞めてしまう場合もあり、指導する側も工夫している。 ・ 地元運輸局、船対協とのインターンシップ活用は今後の検討課題。 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	青森県立八戸水産高等学校
訪問年月日	平成 28 年 12 月 13 日 13:00～15:20
訪 問 者	藤澤社長（幸洋汽船㈱）、高橋社長、竹駒マネージャー（昭和日タンマリタイム㈱）、野間取締役（㈱エスワイプロモーション）、目次管理部長（事務局）
学校側面談者	米内山校長、福嶋教頭、島守専攻科主任ほか
実施事項	(1)学校側懇談、生徒説明
懇談・意見交換概要	
<p>(先生との意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県からは、水産高の本文である漁業関係の就職者を増やすよう指導があるが、当校では生徒の選択肢を増やす意味からも業界説明を受けている。 ・現在インターンシップは行われておらず、地元運輸局、船対協とのインターンシップ活用は今後の検討課題。 ・水産食品科の生徒はいるが調理の教育では無いため、船の料理士の志向者はいない。 ・定着率はどのくらいか？機構生徒のアンケート結果では、3～5年で3～4割が退職。退職者の7割は再度海上職に戻っている。 ・会社では何級免状を求め、登用は？5～3級。デッキ、エンジンで職員登用に若干の差はあるが、実力本位である。 ・学校でも、上級免状があるから自動的に上の職務に就けるものではないことは説明。 <p>(生徒との懇談、質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35名（専攻科1、2年生、本科1～2年生）が参加。 ・各社自社紹介、DVDスライドショー、パンフレットで内航タンカーの仕事等説明。 ・貨物船と比べタンカーの魅力は？縁の下の力持ち、危険物等を運ぶため給料が良い点。 ・3級免状は必要か？会社の船の大きさ、職務によって求められる免状が違うが、自身のスキルアップや目的をもって上級免状を目指して欲しい。 ・他の船種からのタンカーへの転職は可能か？船員としての履歴は通算されるので給料等は考慮されるが、荷役等を一から始めるので不利な点もある。今の段階では、転職を考えず就職した会社で一生懸命やることを勧める。 ・乗船中に家族にトラブルがあった場合、下船可能か？直ぐその場で下船は不可能だが会社で考慮する。 ・小型船舶免状（1級）、海上無線（2級）は、デッキの生徒は取得。 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	宮古水産高等学校
訪問年月日	平成28年10月27日 15:00～17:00
訪 問 者	土井（三興運油(株)）、及川（上野トランステック(株)）、木下・久保（鶴見サンマリン(株)）、小野寺（昭和日タンマリタイム(株)）、原田（国華産業(株)）濱田（(株)デュカム）、阿部（(株)霧島海運商会）、藤澤（幸洋汽船(株)）、目次（事務局）
学校側面談者	鈴木副校長、和田教諭ほか
実施事項	(1)学校側懇談 (2)生徒希望者と懇談
懇談・意見交換概要	
<p>(先生との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの船員高齢化の現状、業界活動として若年船員確保のため、学校訪問を実施している趣旨を述べ、学校の現状、現時点の求人状況等、幅広く意見交換を実施した。 <p>(学校及び就職の現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科 内航タンカー4名、港湾2名、1名未定 ・本科28名 3名専攻科、フェリー2名、貨物1名、漁業6名、陸上等その他 <p>(生徒からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防実習、危険物資格等は必要か？ ・ECDIS限定等の対応は？ ・トリム等の調整は？ 	

宮城県水産高等学校 学校訪問報告

1. 日 時

平成 28 年 7 月 11 日 (月) 15 時～17 時 40 分

2. 参加者

宮城県水産高等学校：高梨正博教頭、平居高志進路指導部長、生徒・学生 44 名

船員対策委員会：内藤 吉起委員長、太田秀男委員、高橋洋一委員、藤岡宗一事務局、

内航事業者：日生地区海運組合久本久治理事長、三興運輸㈱土井秀一社長、興和海運近江喜代彦会務部長

全日本海員組合：高橋雅幸東北支部長

東北運輸局：海事振興部澤村和則労政課長、石巻海事事務所千代谷昇所長

東北内航船員対策連絡協議会：木村誠事務局長、石井英和

3. 進路懇談会

船員として就職を希望する三年生・専攻科生約 30 名と、一・二年生若干名に対して、次のとおり進路懇談会を実施した。

(1) 高梨教頭挨拶

学校から進路懇談会をお願いしたところ、日本内航海運組合総連合会から、内藤委員長はじめ多くの方に来ていただいた。来年の四月に君たち学生が就職先を決める手立てのひとつとして、有意義な時間を過ごしてもらいたい。

(2) 内藤委員長挨拶

内航業界で内航船員を確保・育成しようという目的で、皆さんに話をしに来た。いろんな船種の人からいろんな話を聞いて、皆さんが就職する時にミスマッチがないようにしたい。

(3) 内航貨物船について

①DVD「海を駆ける若者たち」の上映

DVD を放映し、内航船の重要性、内航船の種類、内航船員の船内生活・船内業務等について紹介した。

②各内航事業者からの話

訪問した各事業者から、次の事項について説明をもらった。

1) RORO 船、石油タンカー、ケミカルタンカー、セメント船について

2) 各社のアピールと採用状況について

(4) 魚船について

全日本海員組合の高橋東北支部長から漁船の紹介があった。

(5) 東北運輸局からのインフォメーション

東北運輸局澤村労政課長から、7月16日(土)開催される「目指せ!海技者セミナー in 仙台」への参加依頼が生徒・学生になされた。

(6) 質疑応答

①将来船員になる為に、学校での技術・勉強等の他に、航海で身に付けておけば良かった、知っておけば良かったことはあるか?

⇒ 学校の授業は必要であるが、就職してすぐに役立つものではなく職員になって初めて役に立つものである。国家試験の勉強も上級職員になって初めて役に立つものである。学校には、寮生活・部活で仲間とうまくやること、乗船実習で仲間とうまくやること、ある作業をやり遂げる時に仲間と如何にうまく作業をするかを勉強してほしい。船員にとって大事なものは船内の仲間とチームワークを良くすることである。

②船舶調理士の働くサイクルはどのようになっているか?

⇒ 航海士、機関士と同じ3ヶ月乗船し1ヶ月の休暇のサイクルとなる。

(7) 意見交換

学校： 良く学生を採用したいと内航事業者の方から聞くけど、実際に求人票が出されていないケースがほとんどである。生徒は求人票があってそれを見て考えるし、学校も生徒に説明できるので、是非求人票を提出してほしい。

事業者： 求人票の提出を待つだけではなく、名刺交換した会社に電話するなり会社訪問するなりしてほしい。求人票が出ていなくても、会社訪問で来られて実際採用に至ったこともあった。

事務局： 今日ここにおいで各社は学校訪問のできる会社で、学校訪問したくてもできない事業者がたくさんある。このような会社が一番採用したいと思っているので、積極的に事業者にアプローチしてほしい。

事業者： 運輸局が行っている「目指せ!海技者セミナー」に参加する事業者は、採用しに来ている事業者であるので、直接話されるのも良いと思う。

事務局： 現在水産系高校生を対象にしたインターンシップ制度が各運輸局中心に実施しているので、四国地区で実施している実施要領を持ってきたので参考にして頂きたい。また塩釜港等の揚げ地で内航船を見学することもできるので検討されてはどうか。

事業者： 事業者には大手もあるし中小事業者もいる。大手事業者では上級の海技免状が必要で昇進も遅い傾向にあり、中小事業者では上級の免状はいらないし船長や一航士の責任ある役職に昇進するのもかなり早いので、どっちを選ぶかは生徒本人の希望に沿った就職を勧めてほしい。

以上をもって17時40分終了となった。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	千葉県立館山総合高等学校
訪問年月日	平成 29 年 3 月 13 日 10:00~12:20
訪 問 者	中村 (昭和日本タンマリタイム㈱)、野間 (㈱エスワイプロモーション)、久保 (鶴見サンマリン㈱)、原田 (国華産業㈱)、桐山 (上野トランステック㈱)、花崎 (㈱六甲船舶)、目次 (事務局)
学校側面談者	安田校長、堀江教頭、守安教諭ほか
実施事項	(1)学校側懇談、生徒説明
懇談・意見交換概要	
<p>(生徒との懇談、質疑応答)</p> <p>2年生 19名 (エンジン 12名、デッキ 5名、専攻科志望 2名)</p> <p>DVDで内航タンカー説明、各社の紹介の後、生徒・先生への次の質問に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人船員の給料は手取りでいくらか? ・各船の乗組員数は何名か? ・休暇 (1ヶ月) の時期は希望出来るのか? 長く乗船を希望することも可能か? ・平水船の給料は、沿海船と比べてどのくらいか? ・女子船員で航海士の実績はあるか? <p>○内航タンカー船員の仕事への認知を挙手してもらったが2名のみであった。</p> <p>(後で先生に聞くと、内航タンカー就職者の先輩からの情報は皆、聞いているとのこと)</p> <p>○どの船に乗りたいか聞いてみたが、砂利船、フェリー、漁船等が各1名、タグボートが複数、他は挙手がなかった。(今年の専攻科卒5名中4名がタグに就職とのこと)</p> <p>(先生との意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校では新入生 (海洋課) が、年々減っていることに危機感。 ・就職は 100%に近いが、本科生が海上職に就く比率は少ない。(本年度 5名程度) ・小型船舶免状 (1級、2級) は、7~8割が合格。 ・ECDIS教育の必要性は感じているが、大きな費用とカリキュラム時間割が課題。 ・卒業生で、デッキ船員から自身の希望で賄いに転職した者もいる。(モテルスになる) ・本科生への求人票公開は7月1日より。 ・業界で就職懇談会を実施すれば参加させる。 ・今後も双方で情報交換の場を設ける。 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	神奈川県立海洋科学高等学校（旧三崎水産）
訪問年月日	平成 28 年 11 月 25 日 10 : 00～13 : 00
訪 問 者	土井社長（三興運油㈱）、嶋村取締役（浪速タンカー㈱）、木下副部長・久保一等航海士（鶴見サンマリン㈱）、佐藤グループ長（コスモ海運㈱）原田担当部長（国華産業㈱）、目次管理部長（事務局）
学校側面談者	榎校長、高木進路総括教諭、吉兼総括教諭、鈴木教諭ほか
実施事項	(1)学校側懇談、生徒説明
懇談・意見交換概要	
<p>(学校及び就職の現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学年生徒は 150 名、内、船舶関係約 50 名（航 25～30、機 10～15） ・ 専攻科定員（航 10 名、機 10 名、情報 10 名…毎年航海が多く機関は少ない）。 ・ 本科生は 5 級筆記免除（4 級まで取得する生徒は殆どいない） ・ 小型船舶教習も実施し、1～2 級を取得。 ・ 本科生 3～5 名が清水短大に進学 ・ 本年度は本科、専攻科で 3～4 名が内航タンカー企業に内定。 <p>(生徒との懇談、質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本科 1～2 年生、専攻科 1～2 年生の船舶希望者約 50 名が参加。 ・ 各社自社紹介、DVDスライドショー、パンフレットで内航タンカーの仕事等説明。 ・ 女子の就職口はあるか？ ・ LPG 船と LNG 船の違いは？また、タンカーの船種で給料格差はあるか？ ・ 3ヶ月乗船、1ヶ月休暇は完全に固定されているのか？ ・ 企業が船員として、新卒者に求めるものは？ <p>※ 終了後、特にタンカーに興味を持った 5～6 名の生徒が残り、訪問メンバーに直接、個別案件の質問や相談が行われた。</p> <p>(校内教習施設見学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き時間を利用し、航海シミュレーション室、実エンジンを使用した教習施設等見学 <p>(終了後、先生との意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～5 月、東京近隣学校の生徒に内タン合同就職説明会開催の可能性について意見交換。 ・ 生徒へ内航タンカーを見学する機会、先生の体験乗船について検討要請あり。 ・ 生徒の内航タンカーへの就職について、今後双方で協力を確認。 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	焼津水産高等学校
訪問年月日	平成 28 年 7 月 13 日 15 : 00 ~ 16 : 40、7 月 28 日 14:00 ~ 16:30
訪 問 者	高橋社長・高佐取締役（昭和日タンマリタイム㈱）、 土井社長（三興運油㈱）、目次管理部長（事務局）
学校側面談者	古木校長、千野教諭
実施事項	(1)学校側懇談 (2)生徒全体説明
懇談・意見交換概要	
<p>(先生との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国 46 の水産校で生徒数は最大 620 名（内 1 学年、専攻科 15 名、海洋科 80 名） ・専攻科は、商船、漁船への就職が半々。 ・本科は陸上への就職が多い。 ・本科への求人も早めに出して欲しいとの事。 <p>(生徒全体説明) 本科 1~3 年生 20 名、専修科生 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD、パンフレットで内航タンカー全般説明 ・事業者から求める人材、労働条件等説明、質疑応答 <p>(生徒からの質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①企業の求める人材は？ A. やる気、明るい、協調性、コミュニケーション能力 ②在校中に入る資格、やるべきことは？ A. 学校の勉強第一、後は就職してから ③機関部の具体的仕事は？ A. 航海中の点検、着離棧・荷役中のスタンバイ ④海技士免状はどこまで必要か？ A. 本科取得の 5 級で可、4 級以上も取れば推奨 ⑤食事は作ってくれるのか？おいしさは？ A. 中型船以上は司厨長乗船、おいしい ⑥年収は？ A. 当社例では新卒で乗船中手取り 25 万円前後、下船中 16 万円前後 ⑦船長になるのに何年かかる？ A. 能力次第だが、下からのステップでの仕事の経験が必要+船長は、乗組員の人命、会社からの信頼が必要、早い例では 30 代もいる <p>(合同就職面接会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後日、先生より説明会を聞いた生徒が、内航タンカー企業との面接を希望しているとの連絡を受け、組合員に参加希望を募り合同就職面接会を開催。 ・7 月 28 日（木）14:00 ~ 16:30 於 焼津水産高校 ・内タン：高橋社長（昭和日タンマリタイム㈱）、土井社長（三興運油㈱）、小川部長（旭友海運㈱）、目次（事務局） ・学校：本科生徒デッキ 6 名、エンジン 3 名、父兄 4 名、先生 2 名 ・各社 3 名ずつ輪番でグループ説明の後、個別面接 ・先生からは大変有意義な機会であり、来年も開催して欲しいとの要望あり 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	愛知県立 三谷水産高等学校		
訪問年月日	平成28年 5月25日(水)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之 (田淵海運㈱) 木村美幸 (木村海運㈱) 仲野光洋 (東海タンカー㈱) 高橋道男 (東海支部 事務局長) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	丸地進路指導副主任,		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 ○(3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>今回の学校訪問は、学校側から本日、来春卒業の生徒に対し関係専門学校、会社等による進路ガイダンスがあり、船員希望の生徒もいるのでタンカー船の説明にきてほしいとの依頼があり、訪問したもの。</p> <p>6時限目同校本科3年生(来春卒業予定)の8名(船員、専攻科、短期大希望)に対し、内タンパンフレットをもとに、タンカーの職種、船員の仕事求められる人材等ついて説明を行った。</p> <p>現時点では同8名中、海事教育機構、水産大希望が2名、6名は専攻科(全て航海科希望)へ進学希望であり、卒業後内航船に就職を希望したいとの事。</p> <p>教室で、生徒とフリートーク方式で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー乗組員と他の船舶乗組員との給料面での違い ・内航船での必要な海技資格の種類 ・甲板部と機関部との将来は ・沿海船及び平水船の勤務形態 ・日帰りで勤務出来る船舶は <p>等について意見、質問があり、各説明を行った。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	愛知県立 三谷水産高等学校		
訪問年月日	平成29年 1月16日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	木村美幸 (木村海運㈱) 笹木重雄 (東幸海運㈱) 磯合信之 (三興海運㈱) 川橋利明 (甲子汽船㈹) 北川武彦 (光隆海運㈱) 牧川正起 (知多港運㈱) 牧川龍夫 (知多港運㈱) 久保直輝 (鶴見サンマリン㈱) 上村 良 (関西・葉槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	丸崎校長, 岩口進路指導,		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>同校本科内航志望の生徒 航海4名、機械科4名 食品科1名 合計9名に対し、タンカーの職種、船員の仕事求められる人材等について、内タン作成の内航タンカー船員募集PR及びDVDを活用し、説明を行った。</p> <p>質疑応答では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科及び外部進学が有効か ・給与体系は、 ・休暇サイクルについて ・希望職種等について <p>等の質問が出され、各社対応が違うとの説明の後、参加各社の対応についてそれぞれの会社が、解説を行った。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	愛知県立 三谷水産高等学校		
訪問年月日	平成29年 1月30日(月)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本清和 (㈱オリエントシップ) 川橋利明 (甲子汽船㈱) 武田勝博 (日栄タンカー㈱) 高橋道男 (東海支部 事務局長) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	大須賀光良 進路指導部 三年主任		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 ○(3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>今回の学校訪問は、 本科3年生(専攻科進学者)12名(甲板8 機関4)に対し、 内タン作成のDVD視聴の後、内タンパンフレットをもとに、タンカーの職種、 船員の仕事求められる人材等について説明を行った。 生徒とフリーターキング方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー乗組員と他の船舶乗組員との給料面での違い ・内航船での必要な海技資格の種類・給与体制について・免状について ・休暇サイクルについて等について意見、質問があり、各説明を行った。 <p>本科1年生(内航船員希望者)8名に対し、3年生同様の船員の内容等について説明を行った。 商船希望4名・タグ1名・水先案内人1名・航海訓練所練習船のクルー1名 質疑応答では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与体制について ・求人票を見る時の注意点について ・タンカー船員の厳しいところ及びやりがいについて <p>等について、質問がなされた。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	三重水産高等学校		
訪問年月日	平成29年 1月17日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	木村美幸 (木村海運(株)) 笹木重雄 (東幸海運(株)) 磯合信之 (三興海運(株)) 川橋利明 (甲子汽船(有)) 松浦一夫 (幸福船舶(株)) 牧川正起 (知多港運(株)) 牧川龍夫 (知多港運(株)) 久保直輝 (鶴見サンマリン(株)) 北村智也 (南六甲船舶) 上村 良 (関西・葉槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	堀川教頭 内山進路指導 橋川先生 井上先生 菊池先生 他2名		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>同校 本科3年海洋科56名及び専攻科 18名に対し、 タンカーの職種、船員の仕事求められる人材等について、 内タン作成の内航タンカー船員募集PRパンフレット及びDVDを活用し、説明を行った。 質疑応答では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷役作業について、 ・タンカー船員の資格等について ・平水船の話 <p>等があり、参加各社の状況についてそれぞれ、説明がなされた。 また、終了後先生方との懇談を実施、現状陸上への就職が多く、特に中京地区への メーカー会社が多いとのことである。 また、本校の周辺では、就職先がないので、出ていく生徒が、多いとのことである。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	兵庫県立 香住高等学校		
訪問年月日	平成28年 5月30日(月)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本 清和 (楠オリエントシップ) 武田 勝博 (日栄タンカー(株)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	岡村 有為子 (進路指導部長), 森澄 実 (海洋学科長) 青木 優尚 (海洋学科オーシャンコース担任)		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>今回の学校訪問は、学校側からの要請により実施。</p> <p>オーシャンコース3年生14名の内、就職希望7名内2名タンカー希望 進学希望7名 (海技短大4名その他3名) に対し、内タン作成のパンフレットを主体に 具体例を挙げフリーターキング形式で説明を実施。</p> <p>また、卒業生の現状を交え状況説明を行った。</p> <p>就職希望については、漁船3名 (うち家業1名) 保安庁1名、自衛隊1名 タンカー2名の状況。</p> <p>教室で、生徒とフリーターキング方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー乗組員と他の船舶乗組員との給料面での違い ・内航船での必要な海技資格の種類及びその他の資格 <p>等について意見、質問があり、各説明を行った。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	香住高等学校		
訪問年月日	平成28年 9月13日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本清和 (㈱オリエントシップ) 武田勝博 (日栄タンカー㈱) 斎藤雄一 (大光船舶㈱) 井上竜輔 (井上船舶㈱) 上村 良 (関西・栗槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	渡邊 保幸 (学校長) 岡村 有為子 (進路指導部長) 森澄 実 (海洋学科長)		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>出前授業前に岡村進路指導部長と懇談を行い、3年生の就職状況及び傾向について、情報交換を実施。</p> <p>オーシャンコース2年生17名に出前授業を実施。</p> <p>内タン作成のDVDと 内タン作成パワーポイントにより、説明。</p> <p>17名の内、寮生14名 希望職種フェリー8名漁船4名タンカー4名自衛隊1名</p> <p>質疑応答では、個々の就職希望を確認の後、それぞれアドバイスの説明を実施</p> <p>また、海技短大へ進学するのであれば甲板・機関両用でしっかり4級を取得して、船員になってほしい旨説明。</p> <p>そのほか、給与面 休暇等のサイクル等質問がなされた。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	京都府立 京都海洋高等学校		
訪問年月日	平成28年 7月19日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	木村美幸 (木村海運(株)) 夏本清和 ((有)オリエントシップ) 武田勝博 (日栄タンカー(株)) 西本輝和 ((有)西本海運) 山崎 要 (山崎汽船(有)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	高木正夫 (教諭) 海洋工学部長)		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 ◎(4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>前日同校の先生方と懇談する予定であったが、翌日の準備などで、開催時間が遅れ実施。 なお、数名の先生がご出席予定であったが、 高木先生のみのお出席で、懇談を実施。 懇談内容では、最近の生徒の考え方、進路状況、就職状況について報告を受け、 船社側として、どのような人材が必要か等の、情報交換を実施。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	京都府立 京都海洋高等学校		
訪問年月日	平成28年 7月20日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	木村美幸 (木村海運(株)) 夏本清和 ((有)オリエントシップ) 武田勝博 (日栄タンカー(株)) 西本輝和 ((有)西本海運) 山崎 要 (山崎汽船(有)) 上村 良 (関西・栗槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	高木正夫 (教諭) 海洋工学部長 石川朋広 (講師)		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>同校 航海船舶コース 2年生17名(欠席2名)を対象に内タン作成のDVDを活用し、内容を説明及び、内航タンカー船員募集の海技免状及び取得に関するプロセスおよび必要なライセンスの説明(実習船乗組員 5名同席)</p> <p>17名の内 海技短大進学希望 3名 4年制大学1名 漁船3名 一般商船2名 その他進路未定。</p> <p>海技免状の昇格及び船内の昇格について試験があるのかないのか、同校で取得できるライセンスは、船舶で必要か等の質問が出された。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	福井県立 若狭高等学校		
訪問年月日	平成28年 7月19日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	木村美幸 (木村海運(株)) 夏本清和 (有)オリエントシップ) 西本輝和 (有)西本海運) 山崎 要 (山崎汽船(有)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	平松校長 毛利先生 青池先生		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>同校 海洋科学科2年生15名(女子5名)3年生2名に対し、内タン作成のDVDを視聴していただいたのち、内航タンカー船員募集の海技免状及び取得に関するプロセスおよび必要なライセンスの説明を行った。</p> <p>15名中 内航船希望 3名 漁船希望3名(うち2名家業) 進学希望海技短大3名 4年制大学1名 そのほか5名は未決定。</p> <p>漁船で家業を継ぐにしても、20トン以上の船舶を操船するには、海技免状が必要であるので、養成校ではないが 独自で勉強をし取得に向け努力願いたい旨説明を実施。</p>			
訪問時の 求人数	(人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	浜田水産高等高校		
訪問年月日	平成29年 3月15日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	川橋利明 (甲子汽船(有)) 丹羽耕一郎 (丹羽汽船(株)) 横田之雄 (横田海運(有)) 笹木重雄 (東幸海運(株)) 桐山和広 (上野トランステック(株)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	長田先生 中村先生		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>同校 進路指導部 長田先生 専攻科担任 中村先生とフリートーキングで懇談 本日来校の趣旨説明。</p> <p>同校より生徒の就職状況など 説明を受けた。</p> <p>本科3年生 24名 (航海 13 機関 11) 専攻科進学が 10名 就職については、地元の漁業後継者が多いこともあり、漁船5名 自衛隊・保安庁等 商船は、わずかのようなのである。</p> <p>学校訪問で生徒にタンカー船の乗組員の仕事内容など紹介 (出前授業) のお願いをし 快諾。 中国運輸局の説明会があるのでそれらと一緒にのタイミングで検討したい旨 要望あり</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	隠岐水産高等高校		
訪問年月日	平成29年 3月27日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	斎藤雄一 (大光船舶株) 木下一也・久保直輝 (鶴見サンマリン株) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	池田校長先生 新井先生		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>同校 池田校長と 懇談 新井先生 同席 本日来校の趣旨説明。 同校より生徒の就職状況など 説明を受けた。 本科新3年生 36名 専攻科進学希望が 15名 就職については、海上希望者が多いようである。</p> <p>学校訪問で生徒にタンカー船の乗組員の仕事内容など紹介 (出前授業) のお願いをし 快諾。</p> <p>新3年生が実習に行く前の5月22日から26日の間で調整をすることで了承。</p>			
訪問時の 求 人 数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	富山県立 滑川高等学校		
訪問年月日	平成28年 6月 2日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之 (田渕海運(株)) 原田浩二 (国華産業(株)) 松波道男 (榊辰巳商会) 斉藤雄一 (大光船舶(株)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	澤田和之 (海洋科教諭)		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>海洋科1年生 40名 (女子19名) 3年生15名に対し、授業を実施、 総連作成のDVD及び内タンパワーポイントにより、船員の仕事、タンカー船の仕事 給与体系等を説明。</p> <p>質疑応答では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー船員の仕事内容について ・給料体系について <p>等々の質問が出された。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	香川県立多度津高等学校		
訪問年月日	平成28年 11月 24日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	川橋利明 (甲子汽船(有)) 斉藤雄一 (大光船舶(株)) 横田之雄 (横田海運(有)) 笹木重雄 (東幸海運(株)) 千守晃輔 (興栄海運(株)) 澤重賢二 (東阿海運(株)) 木下一也 (鶴見サンマリン(株)) 上村 良「(事務局)		
学校側面談者 (氏名・役職)	中西一仁 (水産部長)		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>本科2年生29名(航海科14名、機関科15名)に対し、斉藤氏(大光船舶(株))が内タン作成のDVD・パワーポイントを使用して説明を行った。</p> <p>また、資料として内航タンカー海運組合作成のパンフレット「内航タンカーはいま、若い力を求めています。」を全員に配布。</p> <p>29名中 フェリー希望 5名 漁船2名 そのほかはいまだ未定</p> <p>質疑応答について下記内容の質問が出された。</p> <p>給与体制について、休暇状況について、休暇中の給料について</p> <p>各社より、質問の内容について説明がなされた。</p> <p>中西先生と懇談を実施、本校の現状とこれからの内容について説明あり、</p> <p>3年生・専攻科については、本科3年は、専攻科進学を含め、ほぼ進路が決定。</p> <p>専攻科は、ほぼ就職が内定状態である旨説明。</p> <p>2年生については、現在方向性を検討中している生徒が多いとのこと</p> <p>来年度は春に専攻科と本科3年生に就職活動目前で再訪することとし、PRを継続的に実施することで確認。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学校訪問報告書

訪問学校名	愛媛県立宇和島水産高校		
訪問日	平成29年2月7日(火) 13:30～14:30		
訪問者	山本汽船(株)山本社長外9名(別紙名簿のとおり)		
学校面談者	海洋技術課長 揚村勝幸、教諭 遠矢新一郎ほか		
実施事項	内航海運関係の説明(DVD)、生徒との意見交換等		
説明会等	<p>四国運輸局及び愛媛地方内航船員対策連絡協議会の実施する水産高校生徒との意見交換会に合わせて実施した。各出席者自己紹介(局・内タン事業者等・愛媛地方内航船員対策連絡協議会)及び愛媛船対協による愛媛の事業者数・割合等の説明のあと、次の次第により開催された。</p> <p>(参加者) 宇和島水産高校海洋技術科(2年生)19名、専攻科(1年)10名、教員10名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内航海運及び内航船員について(四国運輸局船員労政課 岸課長補佐) 2. 内航海運について(DVD「内航タンカーはいま、若い力を求めています。」) 3. 質疑、意見交換 <p>(事業者からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内航船に乗ってみようと思う方は挙手を・・・ 15名 ・タンカー船に乗ってみようと思う方は・・・ 7名 <p>(生徒からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・M0船の当直体制について教えて、タンカーでもM0船はあるのか? ・休暇はどうなっているのか、皆さん帰省しているのか? ・ケルカル船はどのような物を運んでいるのか? ・船員となる心構えは? ・C重油船について? ・タンカーは寝る間がないと先輩に聞いたが? ・女性との出会いはあるか? <p>(事業者から生徒へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかく海技免状がとれる状況にあるから、それを大事にしよう。 <p style="text-align: right;">以上</p>		
訪問時の求人数	/	訪問経費	

別紙

学校訪問参加者名簿

会社名	役職	氏名	住所	備考
山本汽船(株)	代表取締役	山本宗宏	松山市	四国支部長
(株)エスワイプロモーション	取締役	野間 司	東京都	
興栄海運(株)	取締役	千守晃輔	松山市	
四国中央汽船(有)	代表取締役	合田浩史	四国中央市	
宮崎海運(株)	海務部長	尾崎 吏	東京都	他1名
愛和海運(株)	代表取締役	和泉哲也	西予市	
鶴見サンマリン(株)	副部長	木下一也	東京都	他1名
全国内航タンカー海運組合	海工務部長	山口孝次	本部	

事務方 四国支部事務局長 近藤伸弥 (兼 愛媛地方内航船員対策連絡協議会事務局)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	高知海洋高等学校		
訪問年月日	平成28年11月 1日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之 (日新船舶㈱) 川橋利明 (甲子汽船㈱) 横田之雄 (横田海運㈱) 丹羽耕一郎 (丹羽汽船㈱) 上村 良 (関西・葉槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	坂本 道昭 (進路指導主事) 河内 智博 (進路指導部) 瀧本 啓介 (専攻科担当)		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>上記、先生方と懇談を行い、</p> <p>本校の就職状況等説明をいただいた後、内タンが実施している説明 (出前授業を含む) 内容について説明。</p> <p>本校としては、求人票を出していただきたい旨の説明があり。</p> <p>その辺も含め、次年度6月もしくは7月に 本科2年生と専攻科1年生に対し、出前授業をさせていただきたい旨説明を行い、実施する方向で検討願い、調整をすることとなった。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	福岡水産高等学校		
訪問年月日	平成 28 年 12 月 6 日 (火)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	三興運油株式会社	代表取締役	土井秀一
	鶴見サンマリン株式会社	船舶グループ 副部長	木下一也
	〃	船舶グループ 海務監督	久保直輝
	日之出海運株式会社	取締役工務部長	清水 豪
	全国内航タンカー海運組合	海工務部長	山口孝次
	〃 西部支部	事務局長	佐藤孝俊
学校側面談者 (氏名・役職)	花田校長、吉田進路指導主事、押場海洋課主任 月俣副校長、佐々木進路指導主事 生徒 (2 年生 55 名)		
実施事項	① 生徒全体説明 ② 学校側懇談		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>○ 2 年生 55 名に対し次の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問の趣旨 ・ 内航タンカーの役割、活動、設備等 (DVD 等) <p>○ 生徒からの質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 か月乗船で 1 ヶ月の休暇となっているが、実態は？ ・ 研修はあるのか？ ・ 当直体制は？ ・ 女性の船員はどのくらいいるのか？ ・ 1 航海の期間の長さは ・ 荷役中の体制は？ ・ 司厨長が乗っているのはどんな船か？ ・ 当直以外の仕事はどんなものがあるのか？ <p>○ 生徒への質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船員になりたいと思っているのは？ …… 26 名 ・ 内航タンカーに乗りたいと思っているのは？ …… 5 名 ・ …… 貨物船 (4 名)、フェリー (8 名) <p>○ 学校からの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 			

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鹿児島水産高等学校		
訪問年月日	平成 28 年 12 月 8 日 (木)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	三興運油株式会社	代表取締役	土井秀一
	鶴見サンマリン株式会社	船舶グループ 副部長	木下一也
	株式会社デュカム	船員部長	浜田誠吾
	(株)エスワイプロモーション	取締役海運事業部長	野間 司
	昭和日タンマリタイム	船員グループアソシエイトマネージャー	平野雅弘
	全国内航タンカー海運組合 // 西部支部	海工務部長 事務局長	山口孝次 佐藤孝俊
学校側面談者 (氏名・役職)	新屋敷校長、中山進路指導主任、川添教諭、小山教諭 生徒 (2 年生 22 名、甲板 16 名 (内、女子 1 名)、機関 6 名)		
実施事項	① 生徒全体説明 ② 学校側懇談		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>○ 2 年生 22 名に対し次の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問の趣旨 ・ 内航タンカーの役割、活動、設備等 (DVD 等) <p>○ 生徒からの質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の受け入れは？ ・ 船型別の乗船員の数は？ ・ 1 年に休みはどのくらいあるのか？ ・ 給料はどのくらいもらえるのか？ ・ 機関部員は何名乗っているのか？ <p>○ 生徒への質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内航タンカーに乗りたいと思っているのは？ …… 3 名 ・ 船員になりたいと思っているのは？ …… 19 名 ・ 3 か月の乗船期間は長いと思うか？ …… 0 名 <p>○ 学校からの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 			
訪問時の 求 人 数	(人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	宮崎海洋高等学校		
訪問年月日	平成 29 年 2 月 14 日 (火)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	三興運油株式会社	代表取締役	土井秀一
	鶴見サンマリン株式会社	船舶グループ副部長	木下一也
	〃	船舶グループ海務監督	久保直輝
	(株)エスワイプロモーション	取締役海運事業部長	野間 司
	〃	宮崎営業所長	鶴田哲郎
	昭和日タンマリタイム	船員グループマネージャー	平野雅弘
	ニッスイマリン工業(株)	取締役人事育成部長	坂本 弘
	松盛汽船(株)	代表取締役	松本雅彦
全国内航タンカー海運組合	海工務部長	山口孝次	
〃	西部支部	事務局長	佐藤孝俊
学校側面談者 (氏名・役職)	進路指導主事 中野順一、汐口貴広 (機関) 生徒 (1 年生 48 名)		
実施事項	① 生徒全体説明 ② 学校側懇談		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>○ 1 年生 48 名に対し次の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問の趣旨 ・ 内航タンカーの役割、活動、設備等 (DVD 等) <p>○ 生徒からの質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給料はどのくらいもらえるのか? ・ 女性が乗っている船はあるのか? ・ 卒業予定の 2 年後の求人状況の予想は? ・ 船型別の乗船員の数は? <p>○ 生徒への質問事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船員になりたいと思っているのは? …… 20 名 ・ 内航船に乗りたいと思っているのは? …… 10 名 ・ 内航タンカーに乗りたいと思っているのは? …… 3 名 <p>○ 学校からの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 			
訪問時の 求人数	(人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	王寺工業高等学校		
訪問年月日	平成28年 6月 3日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本 清和 (有)オリエントシップ 武田 勝博 (日栄タンカー(株)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	堀山進路指導担当 (教諭)		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明○ (2)学校側懇談 ○(3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>1年から3年生全学年が自由に見学し、説明を聞くスタイルで実施。 内航タンカーブースには、1年機械工学科1名、情報電子工学1名 3年情報電子工学1名、機械工学科1名合計2名が参加。 パンフレットをもとに、船員の仕事、環境、条件などについて詳しく説明、 3年生の1名は、3年連続もう1名は2年連続来てくれ、 海上技術短大(清水・波方)への進学について詳細に説明。 1年生の2名には、海上技術短大(清水・波方)への進学する方が、就職先の選択肢が増え、 良い条件で就職できるとのことを説明し、船員になることを推奨する説明を実施。 また、陸上産業との違いについて詳細に説明。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	富山高等専門学校		
訪問年月日	平成28年 6月 1日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	内藤吉起 本部船員問題タスクフォース委員長 (邦洋海運(株)) 高佐政人 (昭和日タンマリタイム(株)) 原田浩二 (国華産業(株)) 桐山和広・及川正文 (上野トランステック(株)) 土井秀一 (三興運油(株)) 阿部信弘 (株霧島海運商会) 北 雅之 (田淵海運(株)) 松波 道男 (株辰巳商会) 斉藤雄一 (大光船舶(株)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	笹谷先生		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 (2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
内藤委員長挨拶の後、内航商船希望の4年生 4名とフリートーキングを実施。 タンカーの職種、船員の仕事求められる人材等について、説明を行った。 質疑応答では、 <ul style="list-style-type: none"> ・資格ライセンス問題について ・休暇サイクル等について ・タンカーに就職する際に別途必要な資格は何？ ・陸上勤務は可能か？ ・TOEICは何点以上必要か？ ・無線について 等々 数々の質問が出された。 各社採用条件等が違うので、十分調査したうえで採用試験に臨むべきである旨説明。 会社訪問などいつでも歓迎するので、問い合わせをしてもらうように要望した。			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	大島商船高等専門学校		
訪問年月日	平成 28 年 12 月 12 日 (月)		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	上野トランステック株式会社	海務部長	桐山和広
	株式会社霧島海運商会	取締役部長	阿部伸弘
	鶴見サンマリン株式会社	取締役船舶グループ部長	三吉光雄
	昭和日タンマリタイム株式会社	常務取締役	中村正信
	株式会社デュカム	船員部主任	片山 亮
	NS ユナイテッドタンカー(株)	船舶部長代理	三井 誠
	全国内航タンカー海運組合 " 西部支部	海工務部長 事務局長	山口孝次 佐藤孝俊
学校側面談者 (氏名・役職)	商船学科 古本教諭 生徒 (商船学科 3 年生 37 名)		
実施事項	① 生徒全体説明 ② 学校側懇談		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<input type="checkbox"/> 3 年生 37 名に対し次の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問の趣旨 ・ 内航タンカーの役割、活動、設備等 (DVD 等) 			
<input type="checkbox"/> 生徒からの質問事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京の会社だと住むところは？ ・ 女性の乗船している例は？ ・ 3 か月乗船すると、1 ヶ月休暇を取れるとなっているが、実態は？ ・ 陸上研修の具体的な内容は？ ・ LPG やケミカル船と一般タンカーとの差は？ ・ 陸上勤務をされていて、海上勤務をしたくなくなった場合は？ ・ 各社の主な航路は？ ・ 船員の結婚している比率は？ ・ 乗船中のタバコやアルコールは？ 			
<input type="checkbox"/> 生徒への質問事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 			
<input type="checkbox"/> 学校からの要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ 			
訪問時の 求 人 数	(人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	東京海洋大学 品川 (旧水産大)、越中島 (旧商船大)
訪問年月日	平成29年2月16日
訪 問 者	桐山・及川 (上野トランステック㈱)、三吉 (鶴見サンマリン㈱)、 澤田 (大真船舶㈱)、目次 (事務局)
実施事項	(1)学校側懇談
懇談・意見交換概要	
<p>10:00～11:30 品川 (旧水産大) (就職担当者との懇談) 就職支援室 高橋室長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、内航へもコンスタントに就職者がいる。 ・最近は、外航も人手不足で求人は多い。 ・海上職の求人ファイルがあり、求人票を出してもらえば学生が見る。 ・専攻課生 (乗船者) の4～5月に企業説明を行うので申込で参加も可能。 ・外航大手への就職活動は1次は3社、2次以降は1社に絞るよう指導。 ・生徒へは1～2級海技士を推奨しているが、企業では取得を条件にしていない。 <p>13:30～15:00 越中島 (旧商船大) (担当教授との懇談) 藤坂準教授、佐々木助教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生 (特に航海士) は、外航志望が中心。外航に行けない場合、内航に行く。 ・海事工学35名中20名が航海士、機関は70名中半数が海技士。 ・船員志望者は生真面目で、大手数社を併行しては受けない。(1次複数、2次1社) ・陸上企業への就職希望者は、多数の会社へ併行してアプローチする。 ・平成28年9月の求人数は、外航65名、内航37名、フェリー・官庁等若干名。 ・神戸大、品川 (旧水産) と併せて求人が来る場合もある。 ・内航海運は生徒の認知が足りない面もあり、外航大手の採用活動が落ち着く5月以降に生徒への説明会や合同面接会等は効果があるかも知れない。 	

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	富山高等専門学校		
訪問年月日	平成28年 6月 1日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	内藤吉起 本部船員問題タスクフォース委員長 (邦洋海運(株)) 高佐政人 (昭和日タンマリタイム(株)) 原田浩二 (国華産業(株)) 桐山和広・及川正文 (上野トランステック(株)) 土井秀一 (三興運油(株)) 阿部信弘 (株霧島海運商会) 北 雅之 (田淵海運(株)) 松波 道男 (株辰巳商会) 齊藤雄一 (大光船舶(株)) 上村 良 (関西・薬槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	笹谷先生		
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>同校 商船学科の笹谷先生と懇談 内藤委員長挨拶の後、フリートーキングで懇談。 同校より推薦の生徒が退職することが多く業界での状況等数々の質問がなされた。 4年生40名 海上10名 港湾関係8名 進学6名 地場産業5名 その他10名未定 卒業生の定着率は、外航80% 内航フェリー70% 内航商船40% (タンカーではない) 離職理由でトップは休暇サイクルが求人票どおりでない。 休暇問題並びにタンカー業界の離職率などについて詳細に説明。 その後、各社より、採用したい船員の条件や資質等の説明がなさせた。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立・鳥羽商船高等専門学校		
訪問年月日	平成28年 6月16日		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	北 雅之 (田湊海運(株)) 松波道男 (株)辰巳商会) 笹木重雄 (東幸海運(株)) 平野雅弘 (昭和日タンマリタイム(株)) 原田浩二 (国華産業(株)) 片山 亮 (株)デュカム) 阿部信弘 (株)霧島海運商会) 上村 良 (関西・葉槽船支部)		
学校側面談者 (氏名・役職)	伊藤友仁 (教授) 商船学科長 (機関コース主任) 片岡高志 (教授) 航海コース主任		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p>出前授業に先立ち、伊藤教授と懇談を実施。本校の卒業生の動向等就職関係の話を行った。</p> <p>14:40~15:50 4年生航海15名機関23名 北委員長挨拶の後、パワーポイントにて出前授業、その後参加各社より、会社案内実施。</p> <p>質疑応答では、○航路は、どのようなところか? ○海技資格は3級以上が必要か? ○給料は、部員と職員と差は? ○船長になるのは、海技資格何級が必要か? ○女性船員は、</p> <p>15:50~16:45 5年生 15名エンジン4名 航海 11名に対し、タンカーの職種・船員について船員の仕事・求められる人材等について、内タン作成の内航タンカー船員募集 PR パワーポイントを活用し、説明を行った。</p> <p>質疑応答では、業務内容、資格、給与面、休暇サイクル、タンカー船員の魅力等質問がなされ、参加各社での対応を説明がなされた。</p> <p>15名全員船員希望であるが、船種限定されていない。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

学校訪問報告書

訪問学校名	弓削商船高等専門学校		
訪問日	平成28年12月6日		
訪問者	山本汽船(株)山本社長外10名（別紙名簿のとおり）		
学校面談者	木村隆一校長ほか5名の先生		
実施事項	先生方との意見交換会、商船学科3年の生徒40名への説明・質疑		
説明会等	<p>弓削商船高専の第一会議室において、弓削商船の先生方6名と意見交換会を実施した。山本四国支部長及び木村校長の挨拶のあと、各社自己紹介を行い、そのあと当方からは内航タンカーの現況の説明を行い、学校からは29年卒業予定者の内定先状況の説明があり、その後意見交換を行った。</p> <p>（意見交換の内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後5年生はまるまる1年間就職活動ができるようになる。 ・放課後なら会社説明のところがあれば受け付ける。 ・船員は当面どのくらい足りないのか。どのように困っているのか。 ・陸上企業に来てもらってブースを作って4社参加したが、保護者が熱心に聞いていたが、海運も希望があるかどうか、こういうことをやられたことはあるか。 ・チャレンジフェアは自主参加になっている。今治はタイミングが悪い。 ・求人票を出すタイミングが大事。 <p>そのあと、場所をアッセンブリーホールに移動し、商船学科3年生40名に対して、各事業者の自己紹介、DVD「内航タンカーはいま、若い力を求めています。」を上映、そして生徒のいくつかの質問を事業者が回答して終了しました。なお、最初に内航タンカーも就職先の候補にあるかないかと質問したところ、2/3の生徒があるとの回答でした。</p> <p>（質問内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的なタンカーの乗組員数は。 ・女性の活躍の場はありますか。 ・内外航の油タンカーではどのような人材や資格が求められていますか。 ・在学中に力をつけておいた方が良いことは。 ・どういう人材を欲しいですか。資格をたくさん持つような人、場を盛り上げる人。 ・休暇に入る時、乗下船時、荷役の場所というのは決まっていますか。 <p>以上</p>		
訪問時の求人数	/	訪問経費	

別紙

学校訪問参加者名簿

会社名	役職	氏名	住所	備考
山本汽船(株)	社長	山本宗宏	松山市	四国支部長
上野トランスティック(株)	海務部長	桐山和広	東京都	
昭和日タンマリタイム(株)	常務取締役	中村正信	東京都	
中央海運(株)	船舶部長代理	三井 誠	東京都	
(株)デュカム	船員部主任	片山 亮	東京都	
三ツ浜汽船(株)	総務	渡部上司	松山市	他1名(藤岡良孝)
国華産業(株)	運航管理部長	原田浩二	東京都	
鶴見サンマリン(株)	工務監督	(二機士) 山田	東京都	
(株)霧島海運商会	取締役	阿部信広	北九州市	

事務方 四国支部事務局長 近藤伸弥



木村校長挨拶



山本四国支部長挨拶



意見交換会のようす

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	広島商船高等専門学校		
訪問年月日	平成29年1月17日(火) 午後1時30分から午後3時30分		
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	阿部信弘 及川正文 片山亮 土井秀一 原田浩二 平野雅弘 三井誠 山田洋平 山口孝次 力石正志 以上10名 詳細は別紙の通り		
学校側面談者 (氏名・役職)	校長 辻啓介 商船学科 教授 瀧口三千弘 商船学科 教授 小林豪 商船学科 教授 河村義顕 商船学科 准教授 濱田朋起 以上5名		
実施事項 (○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (1)生徒全体説明 <input checked="" type="checkbox"/> (2)学校側懇談 <input type="checkbox"/> (3)個別就職相談 <input type="checkbox"/> (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p><u>先生との懇談：現状説明</u></p> <p>① 現在5年生は航海訓練所実習期間で留守である。</p> <p>② 5年生の就職は殆ど内定している。</p> <p>③ 4, 5月多種の企業説明会をしていただき、何も知らない生徒にいろんな選択があることを提供している。</p> <p>④ 国家試験(1, 2級)の合格者はここ1~2年増えてきている。</p> <p>⑤ 平成27年度の卒業進路は航海コースで海上74%、機関コースで海上90%、 平成28年10月卒業生40名は海上60%、陸上22.5%、進学17.5% 平成29年10月卒業生(現5年生)48名は海上68.5%、陸上12.5%、進学19%で 内航22名内タンカー5名である。</p> <p>○ 求人活動(求人票)の提出は? 4月でいいのではないか。</p> <p>○ 機関コースが増えているが何故? 学校のコース設定(入学時でなく3年生で設定)。選択しが増えてきた、 商船学科3年生41名(内2名女性)に山口様がDVD等により業界の説明、訪問各社のコメント。</p> <p><u>質疑応答</u></p> <p>① 就職に必要な資格がありますか。</p> <p>② 給料はいくら位なのですか。</p> <p>③ パンフレットによると1航海が2, 3日とかありますがハードでは、荷役時間は。</p> <p>④ 乗船中仕事以外の時間はどんな過ごされていますか</p> <p>○ 乗船実習の期間5カ月は長い? ほぼ全員長い。 3カ月は3~4名がOK。</p> <p>○ 今日、タンカー業界の説明を見て、聞いてタンカーに乗ってみようと思う人? 1名が手をあげた。</p>			
訪問時の 求人数	— (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

報告者 力石 正志